学習内容報告書 フォーマット

学校名	関西大学北陽高等学校
授業者	花井　英子

1.　単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1.　単元名

「縁 JOY」縁をつないで楽しく海を守る！in Okinawa

1-2.　学年

中学 2 年生

1-3.　教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合学習

1-4.　単元の概要

本単元は、沖縄の海と教室を繋ぐ「遠隔授業」にて、海の現状を知り、海について学び、未来の「海」のためにできることを考えさせる単元である。

1-5.　単元設定の理由・ねらい

・新型コロナウイルスの影響を受け、海から離れた地域に住む生徒が「海」を知り・「海」を学ぶ活動ができない中でも、海に関心を持ち、未来の海について考える機会をつくる。

1-6.　育みたい資質や能力、態度

・「海」と暮らす人と自己の考えを比較し、「海」との繋がりを理解する。
・「海」を身近に感じ海洋問題を「自分ごと」として捉えることができるようになる。
・「海」を守るために自分たちにできることを考え実施できるようになる。
・「海」の学びを伝え、「海」を守りたい人を増やす活動を提案できる

1-7.　単元の展開（全４時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1時間	事前学習 海洋問題について理解する ・「私の challenge」 ・海洋ゴミ 　海洋プラスチックゴミへの理解を深める。 ・	○学年一斉に取り組む ※高校生による「出前授業」を実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響によってできませんでした。 ◇海洋問題について興味を持つことができたか。 ◇海が繋がっていることを理解できたか。
2時間	遠隔授業 専門家から学ぼう 「海を守るって何」 ・サンゴの役割について理解する ・海洋ゴミへの理解を深める 　『教室でビーチクリーン大作戦』 情報収集	○外部連携：株式会社　Muffin Top　幾見優子先生 ◇地域の特性を理解し、海洋問題を「自分ごと」として捉えることができたか。
1時間	事後学習 海洋問題を解決する方法を提案する。 整理・分析	○話し合いの支援しながら考えを整理させる。 ○学年で成果を共有し、専門家に面白いアイディアに賞を与えてもらう。 ◇グループで話し合いながら具体的な取り組みを考えることができた。

2.　学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1.　単元における位置づけ

単元　4　時間中の　２．３　時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目　/ 単元 15 時間中の 4,5 時間目

2-2.　本時の目標

「海を守るって何」専門家から学ぶ　～「縁 JOY」縁を繋いで楽しく海を守る！in　Okinawa～

2-3.　本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
１．専門家から学ぶ「 海を守るって何 」 「遠隔授業」沖縄の海と教室を繋ぐ ・サンゴの役割について理解する ・海洋ゴミへの理解を深める 情報取集・整理	○本時までの内容を確認させる《知識・理解》 ◇海洋ゴミについて理解できている。 ○私たちの生活が環境問題に、大きく影響していることを理解させる。
２.『教室でビーチクリーン大作戦」』 体験学習　※資料③ 活動内容 班で活動する　（1 班 4 人・5 人） 準備物 1 班につき 　トレー大　１ケ 　トレー小　２ケ 　ピンセット　２本 　沖縄の砂　適量 トレー大に、沖縄の砂を入れ、ミニ海岸をつくり、ビーチクリーンを実施する 回収した海洋ゴミを人工物・自然物と分ける 人工物が自然に与える影響について理解する 課題発見	グループワーク ○授業がスムーズに進むように、生徒及び専門家の支援をする。 ○備品の準備 ○安全管理 ◇積極的に質問することができた。 《関心・意欲・態度》 ◇個人の特性を生かし役割分担ができた。《態度》 ◇備品の整理整頓 ○活動を実施しながら、未来の「海」のために何ができるかを考えさせる ◇班で話合いながら具体的な解決策を考えさせる。 《関心・意欲・態度》

3.　今回の活動の自己評価

本年度は、北陽高校及び中学校を連携するプログラム「海と繋がる～海を知る・海を学ぶ・海を感じる～」を実施する予定でしたが、残念ながら新型コロナウイルスの影響を受け、学校行事の延期や中止よって計画通りに進めることができませんでした。しかし、昨年度の経験を活かし沖縄の海と教室を繋ぐ「遠隔授業」に挑戦することができました。突然のプログラム変更ではありましたが、生徒たちが楽しそうに活動している様子から体験学習を実施できて良かったと感じています。 体験学習は「海」への関心がより深まり問題意識を持つようになります。そして、その解決策を自ら考えるようになる良い機会になります。今後もさらに体験学習の充実を目指したいです。

4.　今後の課題

今回は、突然のプログラム変更のため 4 時間で実施しました。たいへん楽しいプログラムのため、今後は、さらに内容を充実させ「遠隔授業」を継続したいと考えています。そこで、事前学習、事後学習の時間確保が必要であると感じました。また、1 年間を通じて、すべてのプログラムが完結できるようになれば、担当教員でなくとも容易にプログラムを実施していただけると思っています。

5.　本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特記事項なし

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

　フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

　例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。